令和７年度 先進地視察研修会	「多様な機能を備えた道の駅」 道の駅（川場田園プラザ、まえばし赤城、ららん藤岡）			
開催日時	令和7年10月27日（月） 8:30～18:00		視察地	・群馬県利根郡川場村　道の駅 川場田園プラザ ・群馬県前橋市　道の駅 まえばし赤城 ・群馬県藤岡市　道の駅 ららん藤岡
参加者	２６名	講　師	前橋市 文化スポーツ観光部 観光政策課 観光施設係	

近年、多様なニーズに対応した道の駅の整備や施設の増設・改修が進められています。

視察研修会では、多様な機能を備えるとともに、新たな施設や商品の開発、景観づくりなどに工夫を凝らしている群馬県内の道の駅３か所を視察しました。これらは、今後、道の駅の整備やリニューアルを検討する自治体にとって参考となる事例が多く見られる施設です。

道の駅まえばし赤城は、2023 年に開業し、年間約 440 万人が来場する人気の道の駅です。研修では、前橋市職員の方から、施設の特徴や集客につながる取組、事業手法、整備に至る経緯などについてご説明いただきました。

【道の駅 川場田園プラザ】

新たな施設や商品が継続的に開発され、道の駅の枠を超えた滞在型観光スポットとなっている。



（平日でも多くの来訪者で 賑わう施設）



（地元特産品として人気の「のむヨーグルト」）



（家族連れで賑わう遊具広場）

【道の駅 まえばし赤城】

温浴施設や会議室、バナナ農園など他にも多様な機能を揃えた大型交流拠点となっている。



（多くの利用者で賑わう温浴施設）



（研修会場として使用した会議室）



（皮ごと食べられるバナナを栽培する農園）

【道の駅 ららん藤岡】

イングリッシュ風ガーデンをはじめとする植栽が美しい景観を創出し、施設の魅力を高めている。





（広場や建物壁面に植栽を活用し、景観づくりに工夫が凝らされた施設空間）



（道の駅内で精肉を販売する店舗）